

ガストース・エアイベント追加でのガス抜き事例

なんと！**2時間置き**の金型メンテ（掃除）が
20倍以上（48時間）に延びました！

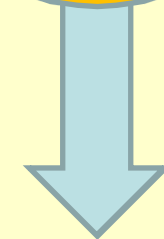
当初2時間おきにスライドコアを外して掃除していました。
発生ガスが多くて厄介な46ナイロンのノンハロゲン樹脂（*）でしたが、
『ガストース』と効果的なエアイベントを設けることで48時間ノーメンテを
実現した事例を紹介します。

（*）DSM社製 PA46 TE248F6 BK26013

【実際に行った対策手順は以下の通りです。詳細を順に説明します】

- ①樹脂溜り部にガストース設置
- ②ランナーにガストース追加設置
- ③製品部のエアイベント加工の強化
- ④製品部にガストース設置

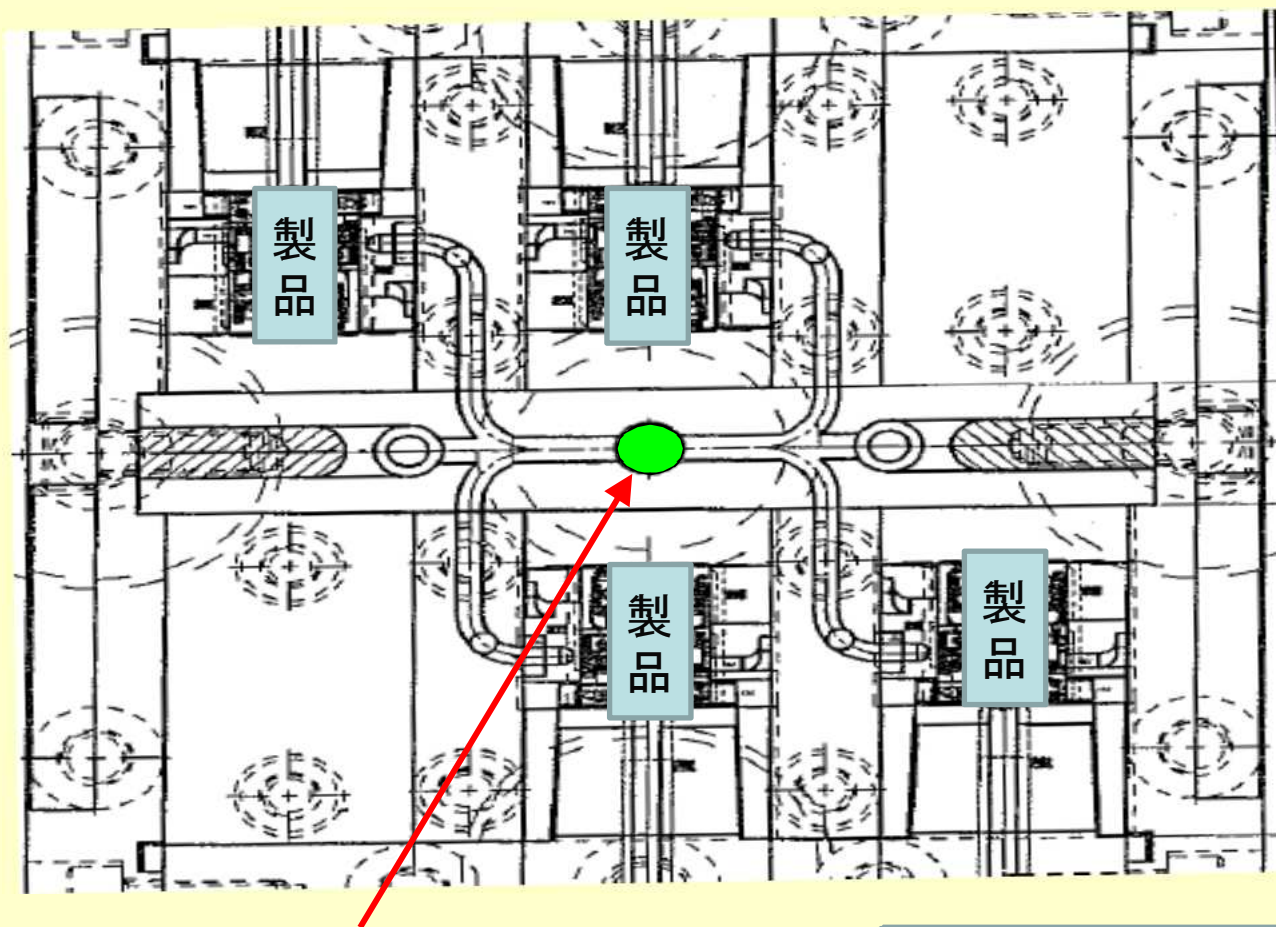
優先



対策手順が
重要です

①樹脂溜り部にガストース設置

①樹脂溜り部にガストース設置しました。



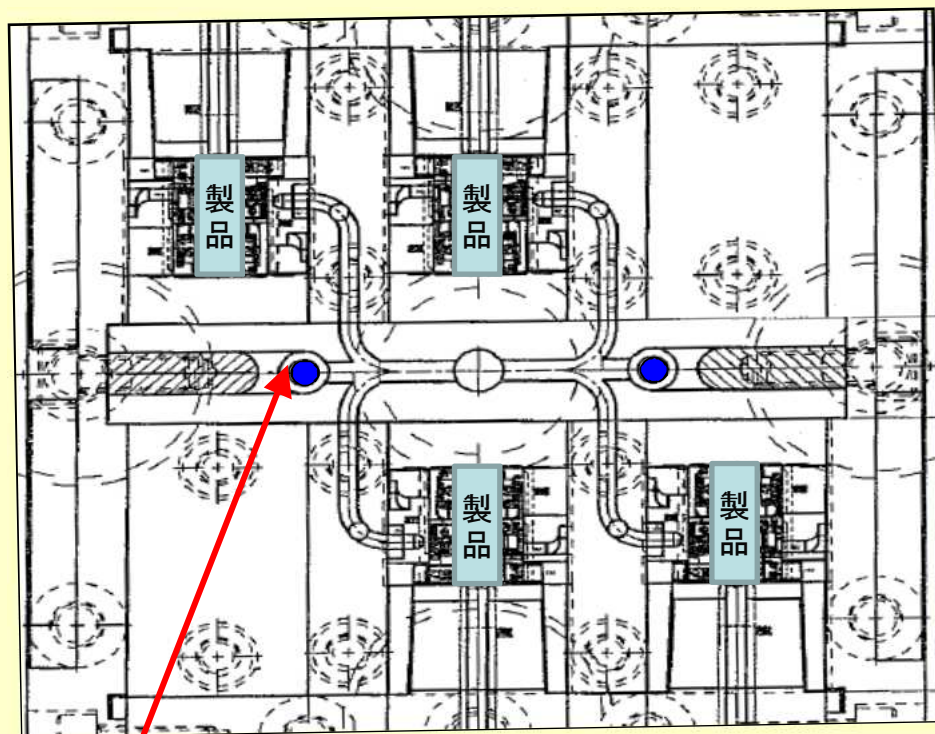
【可動側】PMSA5-101.0-0.03

製品重量:0.38g

②ランナーにガストース追加設置

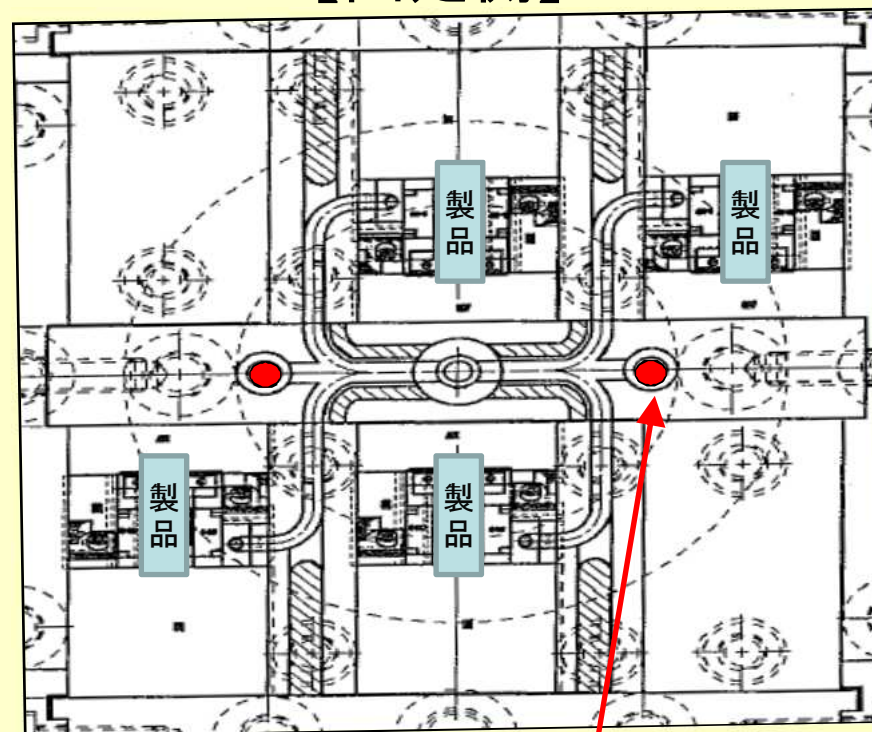
②ランナー一部にガストース追加設置しました。

【可動側】



● PMSA3-106.2-0.03 (×2)

【固定側】



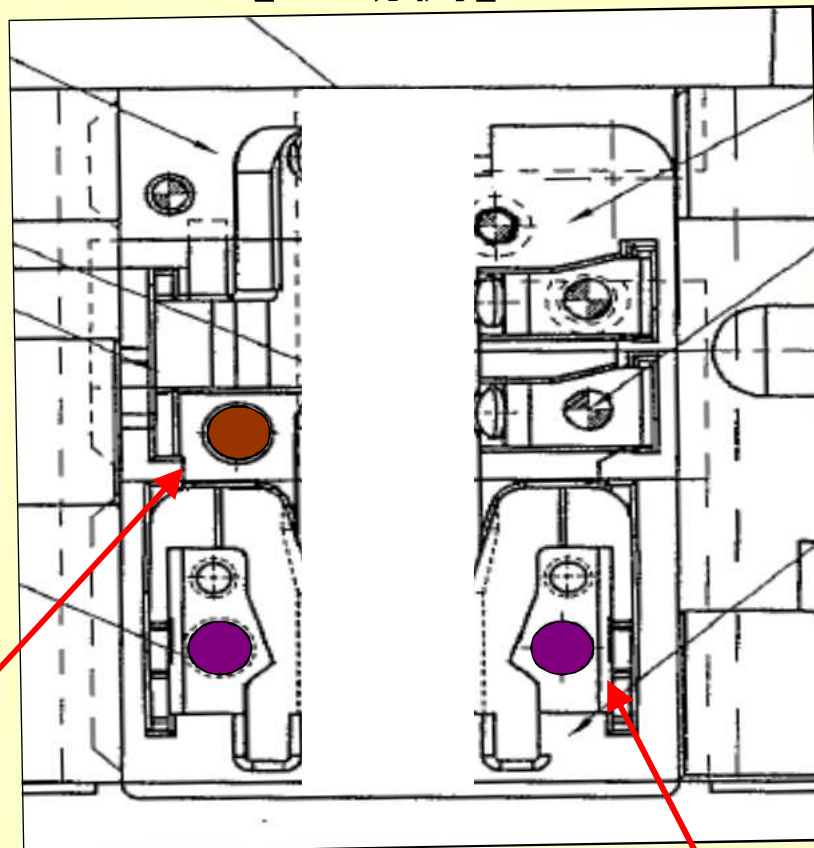
PMSE3-22.7-0.03 (×2) ●

製品重量:0.38g

④製品部にガストース設置

④製品部(4個取)にガストース設置しました。

【可動側】



● PMSC2.0-107.12-0.005

● PMSC2.0-107.02-0.005(×2)

ガストース・エアイベント追加でのガス抜き効果事例

1回あたり25分(0.4H) (※)のメンテナンスが、
(改善前)48時間生産 → **20回**(2時間に1回)かかっていた
(改善後)48時間生産 → **1回**(48時間に1回)で済んだ

なんと**1/20**に
削減しました

結果: 一日あたり3.8時間の メンテナンス時間の削減と生産ロスが解消した

(※)ここでのメンテナンス内容は、成形機に金型を取り付けたままでスライドコアと入子ピンを外してエアイベントを清掃し、金型に取付ける作業。

費用対効果計算式 (お客様の製品に合わせて に数値を入れ、費用対効果を計算してみてください)

効果① メンテナンス時間削減

短縮 $3.8(\text{H}/\text{日}) \times \text{メンテナンス賃率}(\text{円}/\text{H}) = \text{A} \quad (\text{円}/\text{日})$

稼働 $20(\text{日}/\text{月}) \times \text{A} \quad (\text{円}/\text{日}) = 1\text{カ月のメンテナンス削減効果}(\text{円}/\text{月})$

効果② 稼働時間延伸

延伸 $3.8(\text{H}/\text{日}) \times \text{ショット数}(\text{個}/\text{H}) \times \text{単価}(\text{円}/\text{個})$
 $= \text{B} \quad (\text{円}/\text{日})$

稼働 $20(\text{日}/\text{月}) \times \text{B} \quad (\text{円}/\text{日}) = 1\text{カ月の稼働時間延伸効果}(\text{円}/\text{月})$

費用① ガストース製作費用

ガストース17本 417,000(円)

費用② エアイベント追加工費用 84,000(円)

費用対効果(回収までの月数) =
費用合計[(費用①)+(費用②)] ÷ 効果合計[(効果①)+(効果②)] (1/月)

何か月で利益に変わりましたか？